

第34回  
有島武郎青少年公募絵画展

有島記念館 Arishima Takeo Memorial Museum

## 有島記念館の若手芸術家応援の取り組みについて

有島記念館では、美術、音楽など若手芸術家に発表の場を提供するために2012年より展覧会やコンサート事業などさまざまな取り組みを行っています。美術関連では、過去の「有島武郎青少年公募絵画展」入選・出品者をはじめとして、活発な活動を行う作家を企画展「有島記念館若手作家展」シリーズとして紹介してきています。

このほか、35歳以下の作家を対象とした「平成の『生れ出づる悩み』コンテスト」を隔年で開催しています。また、2016年度より当館で紹介した若手作家の作品の購入・收藏を行い、その活動を後世へ伝える取り組みも行っています。



### 過去の「有島記念館若手作家展」

- 第1回：「再会-reunion展」(2013年)
- 第2回：「山下隆博写真展」・「新見亜矢子展」(2015年)
- 第3回：「平成の『生れ出づる悩み』2014展」(2015年)
- 第4回：「駒澤千波展」(2015年)
- 第5回：「石垣渉展」(2016年)
- 第6回：「カトウタツヤ展」(2017年)
- 第7回：「河野健展」(2017年)
- 第8回：「平成の『生れ出づる悩み』2016展」(2017年)
- 第9回：「曾田千夏展」(2019年)

作品を購入・收藏した若手作家

山下隆博、新見亜矢子、駒澤千波、石垣渉、カトウタツヤ、河野健、曾田千夏  
(敬称略)



有島 武郎 Arishima Takeo

1878(明治11)年生まれ。『或る女』、『カインの末裔』などの代表作で知られる小説家。東北帝国大学農科大学教官時代には、美術同好会「黒百合会」の創立に関与するなど、北海道の美術史にも足跡を残す。

1918(大正7)年から発表された有島武郎の小説『生れ出づる悩み』は、のちの画家・木田金次郎が自らの境遇や絵画制作を続けるか否かに悩んでいた時、偶然に有島の住まいを見つけて、訪問した事実がモデルとなっている。木田は、この運命的な出会いをきっかけとして、有島の励ましを受けながら、郷土・岩内の自然と深く対峙して、画業を極めていく。この作品に描かれる、芸術と実生活との間で苦悩しながらも、絵を描こうとする芸術家の姿は、多くの読者の共感を得て、有島の代表作の一つと称されている。

1922(大正11)年、狩太(現・ニセコ町)に所有した自らの農場を無償解放し、翌年に軽井沢で没する。

光	東光 美侑	恵庭市立恵明中学校2年
神秘なる湖	宮川 絢音	岩内町立岩内第二中学校1年
どの人生をつかんで歩むのか。	斉藤 空	岩内町立岩内第二中学校2年
性別逆転！！	宮川 華	岩内町立岩内第二中学校2年
雨あがりの匂い	藤井 佑衣	札幌大谷中学校2年
みつけて	千葉 ひなつ	札幌大谷中学校3年
家族の灯火	三吉 結愛	北星学園女子中学校3年
級友	井上 千依凜	岩内町立岩内第一中学校3年
真夜中の空に	谷分 音葉	釧路市立青陵中学校3年
うちの三姉妹	重森 絢音	ニセコ町立ニセコ中学校1年
今を生きる	小倉 唯妃杏	岩見沢市立東光中学校1年
道化師	泉 春亜	札幌市立清田中学校2年
虹鱒	下田 珀	ニセコ町立ニセコ中学校3年

第34回  
有島武郎青少年公募絵画展

『第34回有島武郎青少年公募絵画展』統計

応募作品	403点	入賞・入選作品	105点
高校生	198点	高校生	63点
中学生	205点	中学生	42点

図録『第34回有島武郎青少年公募絵画展』

発行日

2022年10月22日初版発行

編集・発行

ニセコ・有島記念館  
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57

印刷・製本

株式会社サンコー

この展覧会図録の編集・デザインは伊藤大介(有島記念館  
主任学芸員)が担当しました。

会期

2022年10月22日(土)～11月6日(日)

会場

有島記念館 特別展示室

主催

ニセコ町 北海道新聞社

主管

ニセコ町教育委員会

後援

北海道 北海道教育委員会

## ごあいさつ

このたび有島記念館では、「第34回有島武郎青少年公募絵画展」を開催します。

当館が顕彰する有島武郎は、大正期を代表する白樺派の作家であるとともに、明治期の北海道における美術史にも足跡を残しました。武郎は、1908(明治41)年、東北帝国大学農科大学美術同好会「黒百合会」の創設に関与します。同会個展では、武郎は自作を出品するほか、美術雑誌としての側面を持っていた雑誌『白樺』の同人でもあったことから、後期印象派やロダンの彫刻作品などを展示紹介しました。この個展で武郎の作品に深い感銘を受けたのは、若き日の木田金次郎です。その後、武郎は木田を励まし続け、木田は郷土に根ざした画家として歩みを始めるのです。

有島記念館では、有島武郎が持っていたこの美術振興の精神を継承するため、1989(平成元年)年より本公募絵画展を開催しております。

今回は北海道内各地から、403点に及ぶ応募作品が寄せられ、10月13日、14日の両日に行われた審査会《審査委員長:佐藤友哉氏(札幌芸術の森美術館館長・美術評論家)、審査員:佐藤光雄氏(画家・全道展会員)、西村明美氏(画家・道展会員)、寺嶋弘道(有島記念館館長)》によって、入賞・入選作品104点が決定しました。

今後、入賞・入選されたみなさんが切磋琢磨し、北海道はもとより、日本、そして世界をまたにかけて活動するアーティストへと、また美術活動に理解のある大人として成長していただくことが、主催者としての望みです。

最後になりましたが、この公募展の開催にあたり、出品者をはじめ、中学校及び高等学校美術教諭のみなさまなど、多くの方々にご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

ニセコ町  
北海道新聞社

雀色時	板川	茉 瑚	北海道岩内高等学校3年
くるむ	三浦	瑠 璃	北海道岩内高等学校3年
私はあなたのとりに	高橋	咲 良	北海道岩内高等学校3年
“特別”は今日でさようなら	石上	陽 菜	北海道おといねっぶ美術工芸高等学校2年
朝餉	栃谷	郁 海	北海道旭川工業高等学校3年
儂い	上野	愛 奈	北海道室蘭東翔高等学校2年
people of iwashi	中田	麗 奈	北星学園大学附属高等学校2年
憧れの影	水元	彩 菜	北星学園大学附属高等学校3年
旧都の怪人	岩崎	晴 生	北海道札幌平岡高等学校2年
永遠	木村	真 凜	北海道旭川南高等学校3年
夕月	野村	英 春	北海道留萌高等学校1年
未来永劫	チョン	フィオナ	北海道小樽潮陵高等学校2年
くらげ	伊藤	寛 乃	北海道岩見沢東高等学校2年

## 中 学

星空の夜の花火を君に	小田	美 風	札幌市立宮の丘中学校1年
人で無くともあなたに花を	峯垣	ひなた	札幌市立宮の丘中学校2年
街	國分	芽 依	札幌市立宮の丘中学校2年
過去の風景	飯村	剛 輝	札幌市立宮の丘中学校3年
夏の日	高山	咲 愛	札幌市立宮の丘中学校3年
あなただけを見つめる。	関 澤	凜	千歳市立青葉中学校2年
狼少年	山 口	爽	千歳市立青葉中学校2年
鉄道	高木	慶 乃	千歳市立青葉中学校2年
鱈長鯉	江部	有 妃	千歳市立青葉中学校2年
彩	木村	彩 乃	千歳市立青葉中学校2年
自室	中野	綾 音	千歳市立青葉中学校3年
希望への道	大山	夏 希	江別市立江別第二中学校1年
現実逃避	岩間	由季乃	江別市立江別第二中学校1年
運命	金 山	唯	江別市立江別第二中学校1年
星座	若山	みづき	江別市立江別第二中学校1年
美	山本	美 空	江別市立江別第二中学校2年
変わる夕暮れ	山口	歩 夢	江別市立江別第二中学校2年
夢	河瀬	埜々子	江別市立江別第二中学校2年
みつめたその先には	且見	彩 葉	江別市立江別第二中学校3年
私の3年間の思い出	岩佐	彩 花	江別市立江別第二中学校3年
光のさす方へ	佐藤	麻莉菜	恵庭市立恵明中学校2年
いつもここにある	加地	晴 香	恵庭市立恵明中学校2年

入選

高 校

骸	村松 なつみ	札幌大谷高等学校1年
静けさ	押領司 美心	札幌大谷高等学校1年
夜道の楽しみ	林 杏 樹	札幌大谷高等学校1年
熟考	長内 桜華	札幌大谷高等学校1年
夢の中へ	橋本 心櫻	札幌大谷高等学校1年
枠を外して	大坂 さくら	札幌大谷高等学校1年
花	押山 心乃	札幌大谷高等学校1年
遭遇	橋本 笙太	札幌大谷高等学校1年
辛ク泣キ生キル	横溝 柚穂	札幌大谷高等学校1年
いろとりどり	畑 芽 吹	札幌大谷高等学校1年
うさちゃん童話	佐々木 葵	札幌大谷高等学校2年
れかれかワールド♪	梅原 伶華	札幌大谷高等学校2年
夏空	丹羽 彩夏	札幌大谷高等学校2年
母性	岩崎 はるか	札幌大谷高等学校2年
猫の冒険	高松 優衣	札幌大谷高等学校2年
漂流	島口 峯愛	札幌大谷高等学校2年
葡萄	草薙 朱莉	札幌大谷高等学校2年
おかしな子たち	正村 奈々	北海道北見柏陽高等学校1年
ジダイ	川崎 碧唯	北海道北見柏陽高等学校1年
アイスクリーム	西田 有起奈	北海道北見柏陽高等学校2年
はざま	佐藤 永	北海道北見柏陽高等学校3年
見つめる	伊藤 来美	北海道北見柏陽高等学校3年
色眼鏡で見る	今 夢 月	北海道札幌厚別高等学校2年
侵食	庄司 ひめの	北海道札幌厚別高等学校2年
許さなくても良い	香川 さくら	市立札幌平岸高等学校1年
鬼胎	坪谷 百音	北海高等学校1年
私会議	新 免 天	北海高等学校3年
blossom	光島 美香	北海高等学校3年
自由	杉山 心優	北海高等学校3年
夢	菊谷 菜織	北海高等学校3年
刻	北濱 詩音	北海道岩内高等学校1年

目次

ごあいさつ

総評「第34回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」 06  
西村明美（画家・道展会員）

入賞作品 07  
入賞・入選作品一覧 19

審査委員

審査委員長

佐藤友哉（前札幌芸術の森美術館館長・美術評論家）

審査員

佐藤光雄（画家・全道展会員）

羽山雅愉（画家・道展会員）

西村明美（画家・道展会員）

寺嶋弘道（有島記念館館長）

以上の5名により、2022年10月13日・14日の両日、  
有島記念館にて厳正な審査が行われました。

謝辞

本公募絵画展の開催にあたり、多くの方々にご協力を賜りました。  
厚く御礼申し上げます。

佐藤友哉

佐藤光雄

西村明美

羽山雅愉

北海道

北海道教育委員会

（順不同・敬称略）

## 講評「第34回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」

西村 明美 (にしむら・あけみ=画家・道展会員)

第34回は近年最高の403点という出品点数に対して厳選の105点が入選となった。この中から受賞は上位6点、審査員特別賞5点、奨励賞15点が決定した。審査員は佐藤友哉氏（前札幌芸術の森美術館館長）を中心に佐藤光雄・羽山雅愉両氏（全道展会員）、寺嶋弘道氏（有島記念館館長）、私の5名体制で行った。

今回はいつもよりさらに厳しい審査となり油絵の具の香しい館内で悩み多き時間を過ごした。最終的に作品の構図・フォルム・色彩・タッチなど丹念に審査し相対的に決定した。応募点数から本当に惜しい作品がかなり多数あったことは想像に難くない。

今年から各ジャンルを「平面」として統一されたが違和感なく、むしろ確実に作品の質的な向上を再確認した形になった。傾向としてはテーマ的には日常の目線だが切り口が新鮮で独自のタッチで巧みな描写力が際立った作品が印象に残る。

外部環境が厳しい中で悔しさをバネに切磋琢磨して制作に取り組む若々しいエネルギー、それを支える指導者の真摯な姿勢という構図はいつもながら敬服に値する。

この度の有島の公募展へのたくさんの応募に感謝し、その将来に希望を託し筆をおきたい。

## 入賞・入選作品一覧

左より作品名、出品者名、出品者学校名、学年の順  
敬称略

### 有島武郎賞

夢の中	原田 琴葉	札幌大谷高等学校3年
北海道知事賞		
惹き込む	樋渡 華菜	札幌大谷高等学校3年
北海道教育長賞		
再生	佐藤 菜々実	北海道岩内高等学校2年
ニセコ町長賞		
目が離せない	池本 想奈	北海道岩内高等学校2年
ニセコ町教育長賞		
帰路	中家 花音	札幌大谷高等学校1年
北海道新聞社賞		
みんなの笑顔が咲くお祭り	加藤 夏映良	岩内町立岩内第一中学校2年
審査員特別賞		
水面	二ッ森 茜	札幌大谷高等学校2年
孔雀	工藤 日菜子	市立札幌平岸高等学校2年
小さい遊園地	高野 琴音	北海高等学校1年
未来の世界	安積 百香	駒澤大学附属苫小牧高等学校2年
命脈	西脇 日菜	北海道旭川南高等学校3年
奨励賞		
addictive Art	田村 佳凜	千歳市立青葉中学校2年
虚像	竹島 優太	江別市立江別第二中学校2年
黄昏	加納 汐莉	北海道札幌啓成高等学校1年
山紫水明	齋藤 愛珠	岩内町立岩内第二中学校3年
Secret Hz	山本 翔琉	北海道札幌厚別高等学校2年
視点の切り替え	北友 日向梨	北海道岩内高等学校3年
彩る秋雨	菱沼 夕楓	岩内町立岩内第一中学校2年
理懂綺等	山木 理央奈	駒澤大学附属苫小牧高等学校3年
もう一つの世界	丹羽 苑実	釧路市立青陵中学校3年
音にのせて	高穂 亜弥	北海道遠軽高等学校2年
花めく	河瀬 果鈴	北海道遠軽高等学校3年
ruins	富山 花鈴	北海道室蘭東翔高等学校2年
うさくもクワンのウェザーリポート~No Rain, No Rainbow~	佑井 梨子	学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校1年
daily	太子 裕香	北海道江別高等学校2年
Moonlight Destiny	三田 彩葉	倶知安町立倶知安中学校3年





《花めく》  
河瀬 果鈴  
北海道遠軽高等学校3年



《Secret Hz》  
山本 翔琉  
北海道札幌厚別高等学校2年



《理懂綺等》  
山木 理央奈  
駒澤大学附属苫小牧高等学校3年



《視点の切り替え》  
北友 日向梨  
北海道岩内高等学校3年



《夢の中》  
原田 琴葉 札幌大谷高等学校3年

寸評  
正方形と円の明快な形態の中に大きな猫の毛のタッチと  
柔らかな色調の中に眠る少女の不思議。





《惹き込む》  
樋渡 華菜 札幌大谷高等学校3年

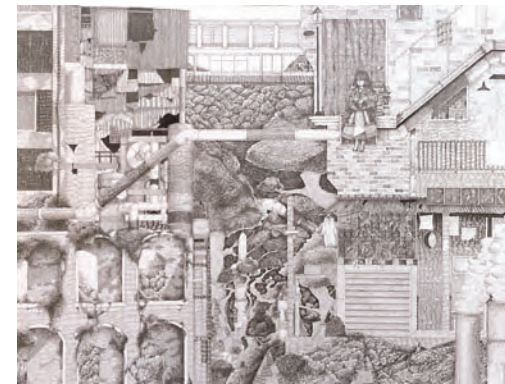
寸評  
額縁の中から筆で絵を描くというパラドックスが面白く  
足を止めて思わず惹かれる重厚な作品。



《音にのせて》  
高穂 亜弥  
北海道遠軽高等学校2年



《daily》  
太子 裕香  
北海道江別高等学校2年



《ruins》  
富山 花鈴  
北海道室蘭東翔高等学校2年





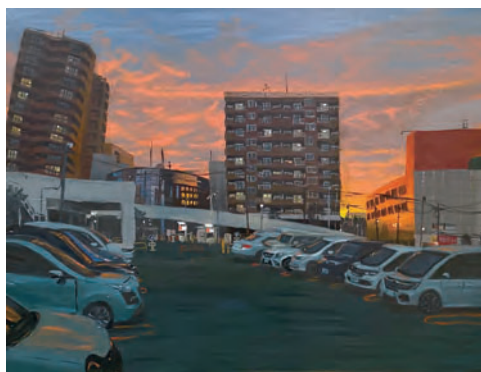
《Moonlight Destiny》  
三田 彩葉  
倶知安町立倶知安中学校3年



《山紫水明》  
齋藤 愛珠  
岩内町立岩内第二中学校3年



《うさきもタウンのウェザーリポート〜No Rain, No Rainbow〜》  
佑井 梨子  
学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校1年



《黄昏》  
加納 汐莉  
北海道札幌啓成高等学校1年



《再生》  
佐藤 菜々実 北海道岩内高等学校2年

寸評

古いタイヤが逆光で海岸に佇み、

連続するタイヤの幾何学形態が快く淡泊な筆致が哀愁を誘う。





《目が離せない》  
池本 想奈 北海道岩内高等学校2年

寸評  
熱中する忘私の幼い子供の表情やふわふわした  
シャボン玉の巧みな描き方が圧倒的で臨場感がある。



《虚像》  
竹島 優太  
江別市立江別第二中学校2年



《彩る秋雨》  
菱沼 夕楓  
岩内町立岩内第一中学校2年



《addictive Art》  
田村 佳凜  
千歳市立青葉中学校2年



《もう一つの世界》  
丹羽 苑実  
釧路市立青陵中学校3年





《未来の世界》  
安積 百香  
駒澤大学附属苫小牧高等学校2年



《命脈》  
西脇 日菜  
北海道旭川南高等学校3年



《帰路》  
中家 花音 札幌大谷高等学校1年

寸評  
見過ごされそうな道の一隅を構図的にバランス良くしっかり描き、  
赤や黄の差し色にセンスを感じる。





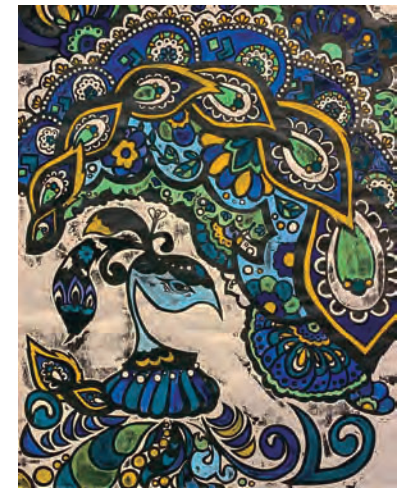
《みんなの笑顔が咲くお祭り》  
加藤 夏映良 岩内町立岩内第一中学校2年

寸評

コロナ禍が長引き、お祭りにもマスクは普通という  
社会現象をさりげなく描いているが巧みな描写力。



《水面》  
二ッ森 茜  
札幌大谷高等学校2年



《孔雀》  
工藤 日菜子  
市立札幌平岸高等学校2年



《小さい遊園地》  
高野 琴音  
北海高等学校1年